

□要請番号 (JL51520A30)

募集終了



国名	職種コード 職種	年齢制限	活動形態	区分	派遣期間	派遣隊次
ケニア	H131 栄養士	20~45 歳のみ	個別	交替 2代目	2年	・2020/2・2020/3・ 2021/1

【配属機関概要】

1) 受入省庁名 (日本語)

? 保健省

2) 配属機関名 (日本語)

ビタサブカウンティ保健事務所

3) 任地 (ホマベイ郡(カウンティ)、ビタ) JICA事務所の所在地 (ナイロビ)

任地からJICA事務所までの交通手段、所要時間 (バスで約10.0時間)

4) 配属機関の規模・事業内容

配属先はケニア西部にあるホマベイカウンティの8つのサブカウンティのうち一つを管轄する保健事務所である。事務所は地域病院に併設しており、事務所長のもとに保健マネジメントチームがあり、管轄地域にある医療施設で提供される保健医療サービスの指導、助言や地域住民を対象とした健康のための保健プロモーション活動を行っている。周辺地域はピクトリア湖の湖畔地域であり、多くの人々は農業や漁業に従事している。また、長崎大学熱帯医学研究所の研究拠点がある。現在、栄養士のJICA海外協力隊(JV、2018-1次隊)が活躍中。

【要請概要】

1) 要請理由・背景

同地域に多い疾病は、マラリア、下痢、結核、HIV/エイズ、栄養失調など。特に同カウンティでは、HIV/エイズ感染率は27%を超えてケニア国内でもっとも高く、また、栄養面においては5歳未満の乳幼児の栄養失調が増加傾向にある。また、住民の食事量、栄養バランスもよいとは言えず、栄養指導が必要となっている。医療施設においては栄養士が栄養指導を行っているが、十分な数の栄養士が配置されておらず、患者・住民へのサポートが十分に実施できていない。現在活動中のボランティアは、学校やコミュニティを訪問しての啓発活動や、病院での栄養指導を行っており、引き続いでの活動が求められている。

2) 予定されている活動内容 (以下を踏まえ、隊員の経験をもとに関係者と協議して計画を立て、柔軟に内容を変更しながら活動を進めます)

配属先業務をサポートし、地域住民の栄養問題の改善、栄養面における知識向上のために以下の活動を行う。

1. コミュニティを訪問し、各地域の状況を把握すると共に関係者と課題を抽出し、改善に取り組む。
2. コミュニティ、学校などでの栄養に関する栄養指導、啓発活動を行う。
3. 来院する栄養失調やHIVなどの患者に対して栄養指導を行う。
4. 医療施設において栄養指導のサポートや記録管理などのマネジメント改善に取り組む。
5. 同分野の隊員との情報交換等による連携で、課題解決にむけた活動を行う。

3) 隊員が使用する機材の機種名・型式、設備等

事務机、椅子

4) 配属先同僚及び活動対象者

配属先同僚:同僚の栄養士1名(男性30代、保健管理チーム所属)

保健事務所長(40代男性)

保健管理チーム 15名(20歳代~50歳代の男女)

*併設の病院にも栄養士1名が所属(女性20代)

活動対象者:地域住民、病院来院者

5) 活動使用言語

英語

6) 生活使用言語

スワヒリ語

7) 選考指定言語

英語(レベル:C)

【資格条件等】

[免許]：（栄養士）

[学歴]：（ ） 備考：

[性別]：（ ） 備考：

[経験]：（実務経験）2年以上 備考：巡回指導、助言を行ったため

任地での乗物利用の必要性

不要

【地域概況】

[気候]：（熱帯雨林気候） 気温：（10～26°C位）

[電気]：（安定）

[通信]：（インターネット可 電話可）

[水道]：（不安定）

【特記事項】

JICAの判断により、訓練言語を「生活使用言語」に変更する場合があります。